ACSES ニュースレター_１９７８号（2020 年 11 月 11 日）

発行：NPO 法人教育研究機関化学物質管理ネットワーク（ACSES）事務局

―目次（12 頁）―

[1] 化学物質関係事故、事件関係
◇その他の事故、事件
・消費生活用製品の重大製品事故:自転車で負傷事故等〈消費者庁〉
・京大研究費の不正支出「11億円超」　会計検査院、菅首相に19年度決算検査報告〈新聞報道〉
・大学が 2.8 億円でシステム導入→使用ゼロ　検査院調べ〈新聞報道〉
◇事故・事件対策、措置、訴訟等
・スプレー缶爆発 4 人死傷、産廃業者役員を在宅起訴　モノタロウは不起訴　大阪〈新聞報道〉
・京アニ事件で動画活用し避難訓練　京都市消防局、命守る指針基に〈Web 報道〉
・冬は特に注意「ノロウイルス感染」職場でできる対策〈新聞報道〉
□大災害、原発事故対策
[原子力施設全般]
・試験研究の用に供する原子炉等の技術基準に関する規則の一部を改正する規則（原子力規制委員会規則第 18 号）〈官報〉
・建設中の核燃料工場 一部の鉄筋が腐食か 青森 六ヶ所村〈放送報道〉
・核のごみ、返還の再開を調整　海外再処理分、5 年ぶり〈Web 報道〉
・女川再稼働、賛否判断一任　宮城知事ら近く同意表明へ〈Web 報道〉
・ヨウ素剤配布、郵送でも　全国初、コロナ感染への不安に配慮　宮城県〈新聞報道〉
[大災害対策]
・水道いらず、微生物使ったトイレ　伊藤忠、災害時や観光地で〈Web 報道〉
[2] [特集] 新型コロナウイルス感染症
[状況]
◇省庁発表
◇マスコミ報道　見出し
[対策・予防]
◇省庁発表
◇コロナ「5 つの行動」緊急提言〈Web 報道〉
◇治療薬、検査薬等
◇大学等関係
・本学における新型コロナウイルス感染者の発生及び学生の緊急入構禁止措置について〈龍谷大学〉／龍谷大野球部でクラスター、18人感染　全キャンパス学生立ち入り禁止に〈新聞報道〉
・各大学の「新型コロナウイルス感染症」の対応について〈Web 報道〉
◇マスコミ報道　見出し
[3] 肥料
◇肥料を登録した件（農林水産省告示第 2174 号）〈官報〉
[4] 環境安全関係
◇環境省と国際連合工業開発機関（UNIDO）の環境協力に関する共同宣言の署名について〈環境省〉
◇（仮称）志賀風力発電事業に係る計画段階環境配慮書に対する環境大臣意見の提出について〈環境省〉
[5] 調査、公募、意見募集等
　[公募、意見募集等]　２件　　[公募結果、意見募集結果]　１件
[6] その他省庁発表　２件
[7] 関連会議等の開催案内、開催記録・報告、資料等

掃溜菊（ハキダメギク）

［開催案内］　11 件　　［開催記録、報告、資料等］　３件
[8] その他
◇インフルエンザ、感染症関係：３件　　◇その他：１件
［付録］
◇日本学術会議　任命拒否問題
〇マスコミ報道　見出し

****

[1] ***化学物質関係事故、事件関係***

◇その他の事故、事件

・消費生活用製品の重大製品事故:自転車で負傷事故等
＜消費者庁　2020年11月10日＞　https://www.caa.go.jp/notice/entry/021997/
https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer_safety_cms202_201110_01.pdf
１．ガス機器・石油機器に関する事故：１件
（うちガストーチ１件)
２．ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故：１件
（うち自転車１件)
３．ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故：14 件
（うち手すり用固定金具１件、延長コード１件、靴１件、電気冷蔵庫１件、換気扇１件、
液晶ディスプレイモニター２件、自転車３件、電動アシスト自転車２件、充電器（電動工具用）１件、
バッテリー（リチウムイオン、電気掃除機用）１件)

・京大研究費の不正支出「11億円超」　会計検査院、菅首相に19年度決算検査報告
＜京都新聞　2020年11月10日＞　https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/407648
会計検査院は１０日、官庁や政府出資法人を調べた２０１９年度決算検査報告を菅義偉首相に提出した。京都大の研究者らが１１～１４年度にかけ、霊長類研究所（愛知県犬山市）などに関わる研究資金を不正支出していた問題で、合計額が１１億２８２３万円とする検査結果を公表した。
京大は今年６月、約５億６６９万円の不正経理が見つかったとの報告書を公表したが、検査院はそれ以外の不正も指摘している。

・大学が 2.8 億円でシステム導入→使用ゼロ　検査院調べ
＜朝日新聞　2020 年 11 月 10 日＞　https://www.asahi.com/articles/ASNCB4H0TNC9UTIL03L.html
大規模災害の際に医薬品がどれくらい必要になるかを予測しようと、佐賀大学が国からの運営費交付金約 2 億 8 千万円を使って導入した医療情報システムが、一度も使われていないことが会計検査院の調べで分かった。佐賀大は今後の運用も断念し、2014 年 3 月に納品されたシステムは全て無駄になった。
この事業は、佐賀大医学部が、九州の他の 6 県にある国立大学から医療データを集め、医薬品の需要を予測するというものだった。災害時に、被災地で医薬品を円滑に供給することが狙いで、システムは 15 年 4 月に本格運用する計画だった。
しかし、システムへのデータの集約には各大学が持つデータの変換作業が必要で、佐賀大はその要員を確保できなかった。システムはデータが全くない「空っぽ」の状態が続き、検査院は「不当な支出にあたる」と指摘し

た。

今後の利用を断念した理由として、佐賀大は朝日新聞の取材に対し、「機器の耐用年数が過ぎ、セキュリティーの担保も難しいため」などと説明。国庫への返納については、「今後、文部科学省と調整が行われると考えている」とした。

◇***事故・事件対策、措置、訴訟等***

・スプレー缶爆発４人死傷、産廃業者役員を在宅起訴　モノタロウは不起訴　大阪

＜毎日新聞　2020 年 11 月 9 日＞

https://news.yahoo.co.jp/articles/587922b6a447935e2640edc69a2865ab26f76fef

大阪府高槻市の産業廃棄物収集運搬会社「今村産業」で 2019 年 7 月、4 人が死傷した火災で、大阪地検は同社の今村嘉幸取締役（51）をガス等漏出致傷の罪で在宅起訴した。10 月 26 日付。

起訴状によると、今村被告は 19 年 7 月 6 日、今村産業の敷地内でスプレー缶 1867 本にハンマーで穴を開け、ガスを漏出させて引火・爆発させ、近くにいた少年に重傷を負わせたとしている。

一方、地検はスプレー缶を産廃収集運搬業の許可がない運送会社に運ばせたとして、廃棄物処理法違反の疑いで書類送検された東証１部上場の通信販売会社「MonotaRO（モノタロウ）」（兵庫県尼崎市）については不起訴（容疑不十分）とした。

また、ガス等漏出致傷などの疑いで容疑者死亡のまま書類送検された３人と、消防法違反容疑で送検された法人としての今村産業も不起訴とした。

・京アニ事件で動画活用し避難訓練　京都市消防局、命守る指針基に

＜共同通信　2020 年 11 月 9 日＞

https://news.yahoo.co.jp/articles/3383fbc751804f0e957fef49c08395b609700f1b

---

・冬は特に注意「ノロウイルス感染」職場でできる対策

＜毎日新聞　2020 年 11 月 10 日＞

https://mainichi.jp/premier/business/articles/20201104/biz/00m/020/006000c

十分に加熱すること　　丁寧な手洗いも重要な対策の一つ　　症状があれば休ませる

□大災害、原発事故対策

[原子力施設全般]

・試験研究の用に供する原子炉等の技術基準に関する規則の一部を改正する規則（原子力規制委員会規則第 18 号）

［官報］　令和２年 11 月９日　本紙　第 369 号　３頁

https://kanpou.npb.go.jp/20201109/20201109h00369/20201109h003690003f.html

〇原子力規制委員会規則第 18 号

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律（昭和三十二年法律第百六十六号）第二十八条の二の規定に基づき、試験研究の用に供する原子炉等の技術基準に関する規則の一部を改正する規則を次のように定める。

令和２年 11 月９日　　原子力規制委員会委員長　　更田　豊志

試験研究の用に供する原子炉等の技術基準に関する規則の一部を改正する規則

（改正の対象となる規則の一部改正）

第一条　試験研究の用に供する原子炉等の技術基準に関する規則（令和二年原子力規制委員会規則第七号）の一部を、別表により改正する。

第二条　別表中、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分をこれに対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改める。

附　則

この規則は、公布の日から施行する。

別表　試験研究の用に供する原子炉等の技術基準に関する規則の一部改正に関する表

改　正　後	改　正　前
（試験研究用等原子炉施設の機能） **第十条**　試験研究用等原子炉施設は、通常運転時において試験研究用等原子炉の反応度を安全かつ安定的に制御でき、かつ、運転時の異常な過渡変化時においても試験研究用等原子炉固有の出力抑制特性を有するとともに、当該試験研究用等原子炉の反応度を制御することにより原子核分裂の連鎖反応を制御できる能力を有するものでなければならない。ただし、試験炉許可基準規則第十五条第一項ただし書の規定の適用を受ける臨界実験装置に係る試験研究用等原子炉施設にあっては、試験研究用等原子炉固有の出力抑制特性を有することを要しない。 ［２　略］	（試験研究用等原子炉施設の機能） **第十条**　試験研究用等原子炉施設は、通常運転時において試験研究用等原子炉の反応度を安全かつ安定的に制御でき、かつ、運転時の異常な過渡変化時においても試験研究用等原子炉固有の出力抑制特性を有するとともに、当該試験研究用等原子炉の反応度を制御することにより原子核分裂の連鎖反応を制御できる能力を有するものでなければならない。 ［２　略］
備考　表中の［　］の記載は注記である。	

・建設中の核燃料工場 一部の鉄筋が腐食か 青森 六ヶ所村

＜NHK　2020 年 11 月 11 日＞　https://www3.nhk.or.jp/news/html/20201111/k10012705411000.html

青森県で建設が進むプルトニウムを混ぜた核燃料をつくる工場で地下 3 階の鉄筋の一部、およそ 3100 本で腐食が進んでいる可能性があることがわかりました。事業者の日本原燃は交換を行う計画をまとめるなど 2 年後の完成に向けて耐震性などに問題がないよう対応するとしています。

青森県六ヶ所村に建設中のプルトニウムを混ぜた核燃料をつくる工場は、国の核燃料サイクル政策の重要な施設の一つで、先月、原発事故後にできた規制基準の審査に事実上合格しました。

日本原燃が工事再開に向けてことし 9 月に地下 3 階の壁をつくるための鉄筋を調べた結果、16%にあたるおよそ 3100 本で、鉄筋の健全性を示す値の 1 つ「伸び」の項目で工業製品の品質などを定めた JIS＝日本産業規格を下回っている可能性があることがわかりました。

鉄筋は 2013 年から組み立てられていましたが、コンクリートを流し込む前の状態のまま、2015 年から審査のため工事が中断していたということです。

日本原燃は途中でシートを取り付けるなどさび対策を施したものの腐食が進んだとみられるとしていて、すべて交換する計画をまとめました。

また、残る地下 3 階の 1 万 6000 本余りの鉄筋の状態の確認も行う方針です。

工場の完成予定は 2 年後で、日本原燃は耐震性などで建物に問題がないよう対応を進めるとしています。

・核のごみ、返還の再開を調整　海外再処理分、5 年ぶり

＜共同通信　2020 年 11 月 9 日＞　https://www.47news.jp/news/5473545.html

原発の使用済み核燃料を海外で再処理した後に出た高レベル放射性廃棄物（核のごみ）の日本への返還を、日本原燃などが 2021 年度に再開する方向で調整に入ったことが 9 日、同社への取材で分かった。核のごみの貯蔵施設が今年 8 月に原子力規制委員会の審査に合格したためで、再開すれば 5 年ぶりとなる。

政府は使用済み燃料を再処理し混合酸化物（MOX）燃料にして再利用する核燃料サイクル政策を掲げるが、国内では再処理工場が完成していないため、再処理を海外に委託してきた。

同社によると、返還は英国での再処理分。同国には放射性物質をガラスで固めた核のごみが約 380 本残っている。

・女川再稼働、賛否判断一任　宮城知事ら近く同意表明へ

＜共同通信　2020 年 11 月 9 日＞
https://news.yahoo.co.jp/articles/515068ca69b0f44f21890da635d543988417d2a4

・ヨウ素剤配布、郵送でも　全国初、コロナ感染への不安に配慮　宮城県
＜河北新報　2020 年 11 月 10 日＞
https://news.goo.ne.jp/article/kahoku/politics/kahoku-01_20201110_11017.html?isp=00002

[大災害対策]
・水道いらず、微生物使ったトイレ　伊藤忠、災害時や観光地で
＜共同通信　2020 年 11 月 9 日＞
https://news.yahoo.co.jp/articles/2e7cd9790a6fb3161c796d4142fae988b46a743e
****

[2] *[特集] 新型コロナウイルス感染症*

[状況]

◇省庁発表
・新型コロナウイルス感染症の現在の状況と厚生労働省の対応について（令和２年 11 月９日版）
＜厚生労働省　2020 年 11 月 9 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k2qLoHTlUwJUr94BY
・新型コロナウイルスに関連した患者等の発生について(11 月８日各自治体公表資料集計分)
＜厚生労働省　2020 年 11 月 9 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k2qLoHTlUwJUr90BY
・国内の発生状況について更新しました
＜厚生労働省　2020 年 11 月 9 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k2qLoHTlUwJUr8sBY
・新型コロナウイルス感染症に関する報道発表資料（発生状況、国内の患者発生、海外の状況、その他）を更新しました
＜厚生労働省　2020 年 11 月 9 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=E-oLIPRl04LUL0qBY
・地域ごとの感染状況等の公表について更新しました
＜厚生労働省　2020 年 11 月 9 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=E-oKvwydLVUGmw-BY
・新型コロナウイルス感染症の患者等の発生について（空港検疫）
＜厚生労働省　2020 年 11 月 9 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=0yrL4DSlE0IU759BY

◇マスコミ報道　見出し
・新型コロナ 政府分科会「急速な感染拡大の可能性も」緊急提言
＜NHK　2020 年 11 月 10 日＞　https://www3.nhk.or.jp/news/html/20201109/k10012702311000.html
・新型コロナ感染者 増加傾向 専門家「第３波の可能性も」
＜NHK　2020 年 11 月 11 日＞　https://www3.nhk.or.jp/news/html/20201111/k10012705391000.html
・家庭内感染が４割超え増加傾向
＜NHK　2020 年 11 月 10 日＞　https://www3.nhk.or.jp/shutoken-news/20201110/1000056010.html
・「GoTo トラベル」利用者感染 131 人に　「GoTo イート」は確認されず
＜毎日新聞　2020 年 11 月 10 日＞

[対策・予防]

◇省庁発表
・新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）ページを更新しました
＜厚生労働省　2020 年 11 月 9 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k2qLoHTlUwJUr8QBY

◇コロナ「5 つの行動」緊急提言
感染拡大の“減少要因”を“増加要因”が上回る可能性…政府の新型コロナ分科会が「5 つのアクション」を緊

急提言

＜ABEMA NEWS　2020 年 11 月 9 日＞

https://news.yahoo.co.jp/articles/3fde66635c93447d5850ca24c77f368f5d631c8b

政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会の尾身茂会長は 9 日夜に記者会見を開き、「全国的に見ても感染が増加していることは間違いない。基本的な感染防止作や自治体によるクラスター対策などの“減少要因”を“増加要因”が上回ることになる」として、「5 つのアクション」を提言した。

「5 つのアクション」は、

(1) 今までよりも踏み込んだクラスター対応として、接待を伴う飲食店・外国人コミュニティ・高等教育機関・職場それぞれのクラスターに応じた効率的な支援や対応、クラスター探知の仕組み、対策の好事例の自治体間及び国との間での迅速な情報共有、また、

(2) 対話のある情報発信として先月発表した「5 つの場面」「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」（後述）、

(3) 店舗や職場などでの感染防止策の確実な実践、

(4) 国際的な人の往来の再開に伴う取り組みの強化、

(5) 感染対策検証のための遺伝子解析の推進、からなる。

さらに分科会ではこれら「5 つのアクション」に加え、年末年始の休暇の分散、小規模分散型旅行の推進、保健所機能および医療提供体制の強化をこれまで以上に推進していくべきだとした。

■「感染リスクが高まる 5 つの場面」とは？

1.「飲酒を伴う懇親会等」…気分が高揚し、注意力が低下する。聴覚が鈍麻して大きな声になる。狭い空間に大人数が滞在する。回し飲みや箸の共有が感染リスクを高める。

2.「大人数や長時間に及ぶ飲食」…接待を伴う会食、深夜のはしご酒は、短時間の食事に比べてリスクが高まる。5 人以上の会食では、大声になり、飛沫が飛びやすくなる。

3.「マスクなしでの会話」…昼カラオケ、車やバスの移動などにおいて、マスクなし・近距離で会話することで、飛沫が飛ぶ。

4.「狭い空間での共同生活」…長時間にわたり閉鎖空間になるため。寮やトイレなどの共用部分などでの感染が疑われる例が報告されている。

5.「居場所の切り替わり」…仕事中はしっかり対策をしていても、休憩時間に入ると気が緩み、休憩室、禁煙所などへと居場所が切り替わることでリスクが高まる。

■「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」とは？

なるべく普段から一緒にいる人と少人数・短時間にし、深酒・はしご酒などは控え、適度な酒量にする。

箸やコップは使い回しをせず、一人で使う。座席の配置は斜め向かいに（正面や真横はなるべく避ける）、会話するときは、なるべくマスクを着用。（フェイスシールドは目からの感染を防ぐものであり、マスクと併用した方が良い）。

また、換気が適切になされているなどの工夫をし、体調が悪い場合は参加しない。

◇治療薬、検査薬等

・コロナワクチン、９割超の予防効果　月内にも米で緊急認可申請―ファイザー

＜時事ドットコム　2020 年 11 月 10 日＞

https://www.jiji.com/jc/article?k=2020110901234&g=int&utm_source=top&utm_medium=topics&utm_campaign=edit

・「9 割に効果」ワクチン報道　都医師会・尾崎会長「まだ効果が分からない。早計に言う話ではない」

＜THE PAGE　2020 年 11 月 10 日＞

https://news.yahoo.co.jp/articles/1c5b6f10939260b83fde5a0c3e53538117e44048

・ロシア「スプートニクＶ」ワクチン、有効率 90％超　保健省当局者

＜ロイター　2020 年 11 月 10 日＞
https://news.goo.ne.jp/article/reuters/business/reuters-20201110012.html
---

・コロナワクチン接種で厚労省方針　持病ある人より高齢者優先
＜共同通信　2020 年 11 月 9 日＞　https://www.47news.jp/news/new_type_pneumonia/5474232.html
---

◇大学等関係

・本学における新型コロナウイルス感染者の発生及び学生の緊急入構禁止措置について
＜龍谷大学　2020年11月9日＞　https://www.ryukoku.ac.jp/nc/news/entry-6468.html
１　発生の経緯について
11月7日（土）、龍谷大学の硬式野球部合宿施設（滋賀県大津市）に居住する学生の新型コロナウイルス感染が確認され、保健所の調査・指導の下、合宿施設に居住する同部員やスタッフを含む合計110名がPCR検査を受けました。11月9日（月）16時現在、18名が新型コロナウイルスに感染していることが判明いたしました。
なお、感染者はいずれも軽症か無症状との報告を受けています。
２　本学の対応について
現在PCR検査の結果が全て判明していないことから、学生の安全を最優先し、本学では11月10日（火）から11月15日（日）までの間、全キャンパス構内への学生の立ち入りを原則禁止いたします（対面での授業は休講とし、オンライン授業は通常通り実施します）。安全確認ができ次第、学生の入構禁止措置を解除いたします。
なお、硬式野球部は、11月7日（土）以降の活動を停止して、感染者以外の部員・スタッフを含めて、11月21日（土）までの間、全員の外出禁止措置をとっています。
また、現在保健所と連携して、感染が判明した学生の行動履歴や濃厚接触者の確認などを進めています。本件について、新たな感染者が確認された場合は、別途お知らせします。
今後本学におけるさらなる感染拡大の防止に向けて、保健所などの関係機関と協力・連携して対応にあたっていくことにしています。全国的に再び新型コロナウイルス感染拡大の傾向が見られており、本学としては学生、教職員に、さらなる感染拡大防止の意識と慎重な行動を働きかけていきます。
感染者の人権尊重、個人情報保護の観点から、充分なご理解とご配慮をお願いいたします。

・龍谷大野球部でクラスター、18人感染　全キャンパス学生立ち入り禁止に
＜京都新聞　2020年11月9日＞　https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/406676
　龍谷大（京都市伏見区）は９日、大津市にある硬式野球部の合宿施設で、新型コロナウイルスのクラスター（感染者集団）が発生した、と発表した。９日午後４時現在で感染者は18人といい、10日から15日まで全キャンパスで学生の立ち入りを原則禁止するという。
　龍谷大によると、７日に合宿施設に居住する学生の感染が確認されたため、部員とスタッフを含む１１０人がＰＣＲ検査を受けた。うち18人の感染が判明した。いずれも軽症か無症状という。

・各大学の「新型コロナウイルス感染症」の対応について【北海道～東京】（11/6 更新）
＜大学プレスセンター　2020 年 11 月 6 日＞
https://www.u-presscenter.jp/article/post-43243.html

・各大学の「新型コロナウイルス感染症」の対応について【神奈川～九州・沖縄】（10/21 更新）
＜大学プレスセンター　2020 年 10 月 21 日＞
https://www.u-presscenter.jp/article/post-43302.html

◇マスコミ報道　見出し

・寒くても換気呼びかけ…政府、クラスター対策強化の方針
＜読売新聞　2020 年 11 月 10 日＞

https://news.yahoo.co.jp/articles/e66eeabbc1f91c1f989e969773909c4a6123e90a
・疫学専門家養成、研修枠を拡充へ　厚労省検討
＜毎日新聞　2020年11月10日＞　https://mainichi.jp/articles/20201110/ddm/012/040/148000c
****
[3] ***肥料***
◇肥料を登録した件（農林水産省告示第2174号）
　　［官報］　令和２年11月９日　本紙　第369号　９頁
　　https://kanpou.npb.go.jp/20201109/20201109h00369/20201109h003690009f.html
肥料の新規登録22件が公示された。
****
[4] ***環境安全関係***
◇環境省と国際連合工業開発機関（UNIDO）の環境協力に関する共同宣言の署名について
＜環境省　2020年11月10日＞　https://www.env.go.jp/press/108636.html
環境省と国際連合工業開発機関（UNIDO）は、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向け、環境分野における協力を進めていくために、令和２年11月９日に共同宣言を署名しました。
これにより、特に気候変動の緩和や廃棄物管理、残留性有機汚染物質の削減、水銀のライフサイクルマネジメント等の分野において、環境省とUNIDO間で知見の共有等を通じて、緊密な連携を促進していきます。
共同宣言の概要
　国連工業開発機関（UNIDO）及び日本国環境省は、様々なステークホルダーと連携しつつ、持続可能な開発目標（SDGｓ）の達成という共通の目標に向け、下記の協力分野において、両機関の緊密な協力を促進することを目的とする。
気候変動条約事務局における、温室効果ガスの排出削減に向けた長期戦略等、パリ協定や気候変動に関する分野
グリーンプロダクトや、廃棄物管理、海洋プラスチックごみの削減など、循環経済に関する分野
モントリオール議定書等、フロンのライフサイクルマネジメントに関する分野
ストックホルム条約等、残留性有機汚染物質の削減に関する分野
水銀に関する水俣条約等、水銀のライフサイクルマネジメントに関する分野
その他、相互に連携可能な分野
　上記の協力に際しては、関連する会議やワークショップ、セミナー等を通じた知見や取組の共有を行う。また、これら活動の進捗確認や見直しを踏まえ、更なる協力内容の検討も行う。
【参考１　国際連合工業開発機関（United Nations lndustrial Development Organization：UNIDO)】
　国連の専門機関のひとつで、開発途上国や市場経済移行国において包摂的で持続可能な産業開発（Inclusive and Sustainable Industrial Development）を促進し、これらの国々の持続的な経済の発展を支援する機関。包摂的な産業開発とは、すべての人々に公平に恩恵をもたらして貧困を減らす産業開発を意味し、また、持続的な産業開発とは、経済発展と環境保護の両立を実現する産業開発を意味する。
　1966年に国連の一部局として発足、1985年に第16番目の国連専門機関として独立し、現在の加盟国は170カ国。オーストリアのウィーンに本部を置き、世界49カ国に地域事務所、３都市に連絡事務所、８カ国９都市に投資・技術移転促進事務所を設置。
別添資料　環境省と国際連合工業開発機関（UNIDO）の環境協力に関する 共同宣言

◇（仮称）志賀風力発電事業に係る計画段階環境配慮書に対する環境大臣意見の提出について
＜環境省　2020年11月９日＞　http://www.env.go.jp/press/108626.html
****
[5] ***調査、公募、意見募集等***
[公募、意見募集等]
◇令和２年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（脱フロン・低炭素社会の早期実現のための省エネ型自然冷媒機器導入加速化事業）の四次公募について

＜環境省　2020 年 11 月 9 日＞　http://www.env.go.jp/press/108637.html

◇令和２年度低炭素型の行動変容を促す情報発信（ナッジ）等による家庭等の自発的対策推進事業委託業務の二次公募について
＜環境省　2020 年 11 月 9 日＞　http://www.env.go.jp/press/108624.html

[公募結果、意見募集結果]
◇「もんじゅサイトに設置する新たな試験研究炉の概念設計及び運営の在り方検討」の公募の採択機関の決定について
＜文部科学省　2020 年 11 月 10 日＞　http://mailmaga.mext.go.jp/c/afwiac7Ps1zjiVbI
****

[6] *その他省庁発表*
◇感染症の病原体を媒介するおそれのある動物の輸入に関する規則の一部を改正する省令（農林水産省令第 77 号）
[官報]　令和 2 年 11 月 10 日　本紙　第 370 号　2 頁
https://kanpou.npb.go.jp/20201110/20201110h00370/20201110h003700002f.html
[改正概要]
（輸入の場所）第一条
指定動物（サル）の輸入の場所（港、飛行場）の追加
　　成田国際空港、関西国際空港　→　成田国際空港、関西国際空港、鹿児島空港

◇種苗法第十三条第一項の規定に基づき品種登録出願を公表する件（農林水産省告示第 2176 号）
[官報]　令和 2 年 11 月 10 日　本紙　第 370 号　3～5 頁
https://kanpou.npb.go.jp/20201110/20201110h00370/20201110h003700003f.html
---

◇各教科等の指導における ICT の効果的な活用に関する解説動画
＜文部科学省　2020 年 11 月 10 日＞　http://mailmaga.mext.go.jp/c/afwiac7Ps1zjiVbJ
****

[7] *関連会議等の開催案内、記録・報告、資料等*
[開催案内]
・令和２年度第３回化学物質のリスク評価検討会（有害性評価小検討会）資料　　11 月 11 日
＜厚生労働省　2020 年 11 月 10 日＞　https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_14663.html
（１）リスク評価対象物質の有害性評価について
　　(初期リスク評価)
　　ジエタノールアミン
　　りん酸トリ（オルトートリル）
　　２－クロロニトロベンゼン
　　(詳細リスク評価)
　　オルトーフェニレンジアミン
（２）その他
・中央環境審議会土壌農薬部会農薬小委員会（第 78 回）の開催について　　11 月 17 日、WEB 形式
＜環境省　2020 年 11 月 9 日＞　http://www.env.go.jp/press/108623.html
（１）水域の生活環境動植物の被害防止に係る農薬登録基準として環境大臣の定める基準の設定について
（２）水質汚濁に係る農薬登録基準として環境大臣の定める基準の設定について
（３）その他
・食品安全委員会 農薬第三専門調査会（第５回）の開催について　　１１月１６日

http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/annai/nouyaku_annai_dai3_senmon_5.html
（１）農薬（フェナリモル）の食品健康影響評価について
（２）その他
・食品安全委員会（第７９７回）の開催について　　11 月 17 日
＜内閣府　2020 年 11 月 10 日＞　http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/annai797.html
（１）食品安全基本法第２４条の規定に基づく委員会の意見の聴取に関するリスク管理機関からの説明について
・農薬７品目
ＭＣＰＡ
ウニコナゾールＰ
キャプタン
クロルピクリン
セダキサン
プロシミドン
メタミホップ
・動物用医薬品１品目
ルバベグロン
（２）食品安全基本法第２４条の規定に基づく委員会の意見について
・添加物「キチングルカン」に係る食品健康影響評価について
（３）その他
・第 25 回食品衛生管理に関する技術検討会の開催について　　11 月 12 日、非公開
＜厚生労働省　2020 年 11 月 10 日＞　https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_14740.html
１　食品等事業者団体が策定した衛生管理計画手引書案の確認
１）　節類の製造
２）　焼きのり・味付けのりの製造
３）　イオン交換膜式せんごう塩の製造
４）　小麦粉の製造
５）　加温まんじゅう販売
２　その他
・産業構造審議会産業技術環境分科会廃棄物・リサイクル小委員会自動車リサイクルWG　中央環境審議会循環型社会部会自動車リサイクル専門委員会合同会議（第 51 回）の開催について　　11 月 20 日、Web 会議
＜環境省　2020 年 11 月 10 日＞　http://www.env.go.jp/press/108620.html
＜経済産業省　2020 年 11 月 10 日＞
https://wwws.meti.go.jp/interface/honsho/committee/index.cgi/committee/35706
（１）　ＡＳＲ削減、再資源化の高度化のための取組について
（２）　日本の非鉄金属の精錬と自動車リサイクルにおける取組について
（３）　車載用リチウムイオン電池のリユース等に係る検討について
（４）　その他
・バイオプラスチック導入ロードマップ検討会（第３回）の開催について　　11 月 20 日、Web 会議
＜環境省　2020 年 11 月 10 日＞　https://www.env.go.jp/press/108632.html
（１）バイオプラスチック導入ロードマップについて
（２）その他
・第 91 回労働政策審議会労働条件分科会労災保険部会（開催案内）　　11 月 16 日
＜厚生労働省　2020 年 11 月 9 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=G-IDKPxt24rcJ0iJY
（１）特別加入制度の見直しに係る関係団体からのヒアリング
（２）特別加入制度の対象範囲の拡大に関する検討事項

（３）労災保険率について
（４）令和２年労務費率調査結果
（５）押印を求める手続の見直しのための厚生労働省関係政令等の一部を改正する政令案（仮称）等（諮問）
（６）その他
・総合資源エネルギー調査会　電力・ガス事業分科会　電力ガス基本政策小委員会　省エネルギー・新エネルギー分科会　省エネルギー小委員会　合同　石炭火力検討ワーキンググループ（第５回）　　11 月 16 日、Skype
＜経済産業省　2020 年 11 月 10 日＞
https://wwws.meti.go.jp/interface/honsho/committee/index.cgi/committee/35745
・第４回「これからのテレワークでの働き方に関する検討会」（ペーパーレス）を開催します　　11 月 16 日
＜厚生労働省　2020 年 11 月 9 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=M8orANRF86L0D2ahY
（１）テレワークにおける労務管理等に関する実態調査（速報）
（２）濱口委員によるプレゼンテーション
（３）これまでの御意見について

[開催記録、報告、資料等]
・令和２年９月 25 日　第 49 回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和２年度第６回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会（合同開催）議事録　　9 月 25 日
＜厚生労働省　2020 年 11 月 9 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k2qLoHTlUwJUr8kBY
・厚生科学審議会（予防接種・ワクチン分科会）　　10 月 2 日
＜厚生労働省　2020 年 11 月 9 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=l26PpHDhVwZQq8UFY
（１）新型コロナウイルスワクチンの接種について
（２）報告事項
（３）その他
・中央教育審議会大学分科会（第 157 回）配布資料　　11 月 5 日、WEB 会議
＜文部科学省　2020 年 11 月 9 日＞　http://mailmaga.mext.go.jp/c/afwgacu9sP6xz9bG
1. 認証評価機関の認証について
2. 高等教育の高度化に向けた設置基準の改正について
3. 国立大学法人の戦略的経営実現に向けた検討会議中間とりまとめについて
4. 地方大学の振興について
5. 教育と研究を両輪とする高等教育の在り方について
6. その他
****

[8] *その他*

◇*インフルエンザ、感染症関係*

・香川県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の遺伝子解析及び NA 亜型の確定について
＜農林水産省　2020 年 11 月 9 日＞　https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/201109.html
香川県東かがわ市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。
また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA 亜型が判明し、H5N8 亜型であることが確認されました。
・高病原性鳥インフルと確認　農水省、香川の２例目
＜共同通信　2020 年 11 月 9 日＞
https://news.yahoo.co.jp/articles/7fdfc6c6e2b9df70141d9ef03d5e669207ca85c1
・香川鳥インフル、２養鶏場の殺処分終了
＜共同通信　2020 年 11 月 9 日＞
https://news.yahoo.co.jp/articles/f2bee8c9e476501f1685fbe969c77f5538e82e75

◇*その他*

・気象庁 動植物観測の9割を年内で廃止へ 「さくら」は観測継続

＜NHK　2020 年 11 月 10 日＞　https://www3.nhk.or.jp/news/html/20201110/k10012704451000.html

動物の初鳴きや植物の開花など、気象庁はおよそ 70 年間続けてきた動植物の観測のおよそ 9 割をことしいっぱいで廃止することになりました。

気象台周辺の都市化などが進んで観測が難しくなったためですが、「さくら」や「かえで」などは引き続き観測が続けられます。

気象庁は、季節の移り変わりや気候の変化を伝えることを目的として、70年ほど前の昭和28年以降、動物の初鳴きや植物の開花などといった「生物季節観測」を行い、公表しています。

各地の気象台の職員などが観測している動植物は、「うぐいす」や「あぶらぜみ」「さくら」「うめ」など合わせて57種類で、中には「しおからとんぼ」や「とのさまがえる」などもあります。

しかし、近年は、気象台周辺で都市化が進むなど生態環境が変化し、標本とする植物の確保や対象の動物を見つけることが難しくなっています。

例えば「とのさまがえる」は、観測が開始された昭和28年には全国38か所で確認されていましたが、去年は5か所にとどまっています。

このため気象庁は、全体のおよそ9割にあたる51種類の動植物の観測をことしいっぱいで廃止することになりました。

一方、全国の季節や気候の変化を把握することに適した「さくら」や「うめ」「かえで」「いちょう」「すすき」「あじさい」については観測が続けられます。

気象庁は、「季節が感じられる身近な情報として、長年、多くの種類で公表してきたが、やむをえず今回の判断となった。一部の植物は今後も観測を続けるので引き続き参考にしてほしい」としています。

****

[付録]

◇*日本学術会議　任命拒否問題*

〇マスコミ報道　見出し

・学術会議改選「事前調整せず」　大西元会長、菅首相答弁を否定

＜時事ドットコム　2020 年 11 月 9 日＞　https://www.jiji.com/jc/v7?id=2010gakujutsu

・学術会議元会長“名簿説明したただけ　調整にあたらない”と反論

＜NHK　2020 年 11 月 9 日＞

https://www3.nhk.or.jp/news/html/20201109/k10012703041000.html?utm_int=all_side_ranking-social_004

・自民、学術会議問題で「逃げ切り」に自信　「批判の電話も少ない」　月内に集中審議

＜毎日新聞　2020 年 11 月 10 日＞　https://mainichi.jp/articles/20201110/k00/00m/010/199000c

********** 以上 **********